

## 平成30年度 京都大学総長賞表彰者

	受賞者・団体名	推薦対象分野	推薦理由・受賞歴等
1	理学研究科生物科学専攻DC2回生 ガオ ジェ GAO, Jie	学業	チンパンジーがじゃんけんのような循環的な関係を理解できるかについて、ヒト幼児と比較しながら研究を行い、ヒトとチンパンジーにおける「身体」の知覚認識に何か差異があるのではないかという着想を得て、「上下さかさま」の身体の知覚というユニークな研究を現在進めている。国内外で高い評価を得ており、Primates誌の2018 Social Impact Awardの受賞を含む計9つの賞を受賞している。
2	工学研究科合成・生物化学専攻DC3回生 ニシタニ ノブヒコ 西谷 暢彦	学業	機能性有機分子の平面基板上における集積挙動に関する研究で成果を挙げ、発表した論文はWiley誌でVIPとして表紙にも採用された。また、研究成果を国内外の学会で精力的に発信し、2件の最優秀発表賞を含む計9件の発表賞を受賞した。この他に「充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム(LIMS)」履修生として、異分野の学生達と超高齢化社会への課題解決を目指した活動に取り組み、「第7回企業に研究開発してほしい未来の夢」アイデアコンテストで藤森工業部門最優秀賞を受賞。さらに企業と共同でこのアイデアの特許化を達成した。
3	教育学研究科教育科学専攻DC3回生 カワムラ ユウタ 河村 悠太	学業	人を助ける行動の促進・抑制要因として評判への関心に着目した心理学的研究に取り組み、多くの優れた業績をあげ、一流の国際学術誌Evolution and Human Behaviorをはじめとする9本の査読論文誌に採択された。さらに国内外の学会等から学会賞等を4件受賞した。
4	工学部地球工学科4回生 カツキ タイヨウ 勝木 太陽	課外	大学から始めたセーリング競技、ウィンドサーフィンにおいて全日本インカレ新人戦、全日本インカレ団体戦(団体の部、個人の部)、全日本インカレ個人戦で京都大学のみならず、本競技の歴史においても史上初となる四冠を果たした。
5	経済学部経済経営学科4回生 イトウ ジュン 伊藤 淳	課外	平成30年度第45回日本ギターコンクールの大学生部門で金賞と日本ギター協会賞を受賞した。
6	居合道部 (代表)文学部4回生 スズキ タイガ 鈴木 大河	課外	第32回全日本学生居合道大会団体戦優勝、第33回全日本学生居合道大会団体戦で準優勝した。
7	体育会男子ラクロス部 (代表)工学部4回生 ワキ ヒデアキ 和木 英晃	課外	平成30年度第10回ラクロス全日本大学選手権大会で準優勝した。
8	体育会ヨット部 (代表)法学部3回生 ナガハマ タクヤ 長浜 拓哉	課外	平成30年度第83回全日本学生ヨット選手権大会スナイブ級準優勝。

合計: 8件